

Run No.21 2019.2.20

らんらん

男女共同参画社会づくり情報誌



青島北小学校「ワールド」教室での授業の様子

目次

特集 「普通」について考える ～私の「ふつう」はあなたの「フツウ」？～

私たちが考える「普通」や「当たり前」は、必ずしもみんなに当てはまるものではなく、一人ひとりが違った「ふつう」を持っています。今回は、「国籍」と「性のありかた」という2つの視点から、「違うことを認め合う」ことの大切さを考えてみたいと思います。

あなたの「普通」、もう一度見直してみませんか。

いっしょにいるのが「当たり前」 ～青島北小学校の多文化共生～……………2～3

私たちのナチュラルな生の声を伝えたい ～多様な性のあり方にふれる～……………4～6

地域で頑張っています 「男女共同参画地区推進員」……………7

コラム・編集後記……………8

いっしょにいるのが「当たり前」～青島北小学校の多文化共生～

「多文化共生」とは、異なる国籍の人々が、文化の違いを認め合いながら共に生きていくこと。

現在、藤枝市には約1,600人（人口の1.2%）の外国人が在住しています。

今後在留資格が緩和される中で、外国人の存在はより身近なものになっていきます。

すでに外国人との共生が「普通」になっている青島北小学校では、児童の約5%が外国人です。

青島北小での取組から、これからの多文化共生のあり方について考えます。



外国人児童向けの教室「ワールド」

青島北小には、外国人児童への日本語指導のための専用教室があり、専任教員が1人います。

家庭では母国語で会話することが多く、日本語に接する機会が少ないことから、週に1～2時間程度、丁寧な日本語指導や学習指導が行われています。

また、外国人児童同士の交流の場ともなっています。

このような教室があるのは
藤枝市では青島北小だけ！

ワールド担当 望月先生に聞きました

教室ではどんなことを教えていますか？

各学年の国語・算数の授業の復習をします。国語では、本読みを正しくできるよう支援したり、算数では、教材を工夫して特に文章問題の意味を丁寧に教えたりしています。

子どもたちにとってどんな場所ですか？

困ったことやわからないことを何でも聞けるので、授業への理解が深まるとともに安心感が得られます。休み時間などに教室に来る子どもも多く、「居心地の良い場所」になっているという点で、心の安定につながっていると思います。

ワールドでのエピソード

1学期には日本文化を知るために実際に抹茶をたてました。子どもたちは作法にしたがってきちんと飲むことができ、「おいしい」と喜んでいました。2学期には南米の「ピニャータ」（誕生日などで使われる、おもちゃやお菓子を詰めた人形）を作って遊びました。クラスの子に遊び方を紹介することもでき、異文化交流の場になりました。



文化の違いへのさまざまな対応

児童に対しては（宗教上の対応）

- 給食で食べられないもの（豚肉・牛乳など）がある児童には、弁当の持参を認めています。
- 服装（被り物）などで配慮が必要な場合は、文化を説明することで理解を促しています。

保護者に対しては

言語については、児童よりも親が不自由することが多く、必要に応じて通訳を依頼し対応しています。特に就学時には、入学が見込まれる外国人児童がいるか調査し、どのような配慮が必要かを検討します。





教室の外国語表記など

教室などの入口には、日本語と外国語で部屋の名前が書かれています。

また廊下には、さまざまな国のあいさつ言葉や、食文化に関することなど、外国の文化に触れられるような、児童手づくりの掲示物があります。

外国語による教室名表記は、もともとは外国人の児童に向けて行われたものですが、今は「いながらにして国際交流ができる」ツールとして、全ての児童のために役立っています。



主幹教諭 豊島先生のお話

赴任して2年目になりますが、最初はこの環境と児童の順応性に驚きました。

青島北小では「日々の学校生活が国際交流」といえます。

保護者の方は、学校からのお知らせの内容が分からないことや、文化・風習の違いなどから戸惑うこともあり、本人に悪気はなくてもトラブルになることもあります。学校はこういうところをフォローすることで、外国人との共生が図られるように努めています。

外国人の子どもたちと日本人の子どもたちが、共に生活する中でお互いを理解し、尊重し合う心を育てることが、国際理解の第一歩になると考えています。

青島北小学校の基本情報

- 全校生徒574名のうち外国人は31名(5.4%)、各クラスに1~2人の割合。
- ペルー・コロンビア・アルゼンチンなど南米の国々が多い。
- 以前から外国人が多く居住している地域であることから、日本で生まれ育った児童がほとんど。

学校を取材して

学校に居ながら国際交流できる環境があるのは、国籍に関わらずすべての児童にとって良いことで、うらやましく思いました。このような環境で育った子どもたちが大人になった時、お互いに臆せず交流することができ、より良い関係を築いていけるのではないのでしょうか。

今の青島北小があるのは、これまでの工夫ある取組の成果だと、取材をして感じました。

私たちのナチュラルな生の声を伝えたい ~多様な性のあり方にふれる~



LGBT 対談

皆さんが感じる

「不自由さ」は何ですか？

細川:「不自由慣れ」してしまっていて、何が不自由かわからないところはあるかもしれないが、LGBT=生きづらいという価値観を作ってしまったのではないかな。実際には必ずしもそうではないと思う。

Y: 学生るとき、ゲイであることを理由に嫌がらせを受けたことをきっかけにカミングアウトした。幸い友人たちは理解してくれたが、偏見に立ち向かうことには恐怖があった。

T: 身近に相談できる相手がいないというのは一番つらい。自分の場合、親には28歳の時にカミングアウトしたが、親戚にはまだ言えていない。見た目も変わっている中で、親にとってもストレスだと思う。

Y: 生き方を参考にできる「ロールモデル」がないことが不安。LGBTの中には、将来に希望が持てず、自暴自棄になってしまう人も多い。

T: 私が自分の性自認に気づいた時も、LGBTには「夜の世界」というモデルしかなく、将来が見えずに絶望した経験がある。また、職業につきにくいこともある。以前は自分のセクシュアリティを理由に、一度出た内定を取り消されたこともあった。

Y: 子どもを持っていないこと、家を残すことに悩んで自殺する長男は非常に多い。私は子どもがほしいと思っているが、日本では代理出産や養子縁組などの制度が整っておらず、もどかしさがある。

M: 養親のなり手が少ない状況が続く中、ゲイカップルであっても里親を認めてもよいのではと思う。最近の児童虐待のニュースを見ると、産む数を増やすだけでなく、産んだ後のことも考える必要があるのではないかな。



「社会での認知度」が上がっていると感じることはありますか？

細川: ドラマや映画などで取り上げる機会が増えてきたとは思いますが、その内容には偏りがあり理解が進んだとは言いきれない。また、知識が必ずしも受容につながるとは限らず、ジレンマを感じる。



特定非営利活動法人
しずおかLGBTQ+(プラス)
(旧 LGBTしずおか研究会)

セクシュアリティ(性のあり方)についての理解を深めるため、性的少数者の当事者・非当事者に関係なくさまざまなことを語り合う団体。県中部・静岡市を中心に、LGBT理解のための講演・研修会なども開催しています。

参加いただいた方

- Tさん:** セクシュアリティはトランスジェンダー (FTM: 戸籍は女性・性自認は男性)。社会的に男性として生活しているが、戸籍は変更していない。運送業で自活している。
- Mさん:** 自認する性に揺れがある女性、3人の子を持つ母親。古くから残るジェンダーに疑問を感じている。
- Yさん:** 現役の高校教師、セクシュアリティはゲイ。友人には5年前からカミングアウトしている。
- 細川さん:** 法人の代表理事。LGBT当事者ではない。中学生のころに「男女二元論」に違和感を持ったことをきっかけに、6年前からこの活動を始める。

メディアなどでも取り上げられることが多くなったLGBT※（性的少数者）。

典型的な異性愛者とは異なる性のあり方を持つ人は、全人口の約7.6%（約13人に1人）とも言われ、これは「血液型がA B型」や「左利き」の人と同程度の割合ですが、これまでその存在が認められることはほとんどありませんでした。

今回、静岡市で活動する「特定非営利活動法人しずおかLGBTQ+（旧 LGBTしずおか研究会）」のご協力により、当事者の方にお話を聞く機会をいただきました。その声から、多様な生き方を認めあうために何が必要かを考えます。

※LGBT…レズビアン（女性同性愛者）・ゲイ（男性同性愛者）・バイセクシュアル（両性愛者）・トランスジェンダー（性別越境者）の頭文字をとった言葉で、性的少数者の総称として用いられます。

Y: テレビに出るオネエタレントも増えていますが、彼（彼女）らは「いじられる」対象としてメディアに出ていることが多く、却って「当事者をいじってもよい」という風潮が広まっているので、根本の問題は変わっていない。

以前ある雑誌で、当事者のみの座談会が掲載されているのを見たとき、素直な気持ちがかかれていたのを見て、**私たちのナチュラルな生の声、日常の声を伝えたい**と感じるようになった。

どんなに説明しても自分たちのことを理解できない人もいますが、どうせわからないと切り捨てるのではなく、理解してもらおうとする努力も必要だと思う。

当事者として 知ってほしいことは？

Y: LGBTを笑ったりバカにしったりするようなことはしないでほしい。以前自分の生徒が当事者をバカにするような発言をして指導をしたとき、その発言が誰かを怒らせることにも気づいていなかったという経験がある。

細川: セクシュアリティは変えられるものではないことを知ってほしい。よく「何がきっかけでそうなったのか？」と聞かれるが、もともとの指向に「気がついた」だけ。

また、「打ち明けられた＝同じ価値観になってほしい」ということでもない。

M: 皆さんの身近にも必ず当事者がいることを意識してほしい。当事者には、自己発信できない人も多い。

社会や行政に求めることは？

M: 学校教育の中での浸透を進めてほしい。大人になってからでは理解が難しいので、子どものころからしっかり教えるようになってほしい。

細川: 当事者である友達から打ち明けられた子ども、真摯に受け止めるのは良いが、どうしてよいかわからずに引きこもりになってしまう子もいるので、全ての子どもへの教育が必要だと思う。

Y: 教える側への教育。教師向けの研修や、大人に対する生涯学習も必要だと思う。ただ教えるのではなく、先生が「思い」を持って伝えることも必要。外部講師を活用するのもよいと思う。また、教えた後にはカミングアウトする生徒もいると思うので、そのフォロー体制も必要。

細川: パートナーシップ制度をもっと広まるとよい。また、LGBTにやさしい「フレンドリー企業」を認定するなどの取組も広めてほしい。

M: 男性優位の社会構造はまだ根深く残っているし、そこに強く疑問を感じている。

男らしさ、女らしさを求めるのではなく、中性的な人がいてもよいと思う。



細川: LGBTの課題は男女共同参画と同義。静岡県は、国内でも保守的な地域ではありますが、まずは男女共同参画の意識を浸透させる必要があり、その先にLGBTへの理解や受容が広がるのではないかと思います。

将来的には、LGBTが正しく認知され、この団体の存在意義がなくなってくれることを願っています。



レインボーフラッグ
LGBTのシンボルです

取材を通じて

これまで、向き合って接することのなかった当事者の方のお話を聞くことができたのは良い機会でした。身近にいながらも気付いていなかったLGBT当事者の存在に気づかされると同時に、話をしてみれば当事者の方も自分たち

と何も変わらないこともわかり、改めて「普通」とは何かということを考えさせられました。相手を知ることは大切なこと。自分と違うからと拒絶するのではなく、耳を傾けることの大切さを感じました。

まずは知ること。正しい理解から始めよう。

性を構成する要素とセクシュアリティ

- 1 からだの性 … 生物学的な性別、身体的な特徴
- 2 性自認（こころの性） … 自分が認識している性別
- 3 性的指向（好きになる性） … 恋愛や性愛がどの性別に向いているか
この要素の組み合わせを「セクシュアリティ（性のあり方）」といいます。



性の要素の組み合わせ

からだの性	性自認 (こころの性)	性的指向 (好きになる性)	セクシュアリティ (性のあり方)
♂	♂	♀	異性愛 ●
		♂	同性愛（ゲイ）
		♂♀	バイセクシュアル
	♀	♂	異性愛
		♀	同性愛（レズビアン）
		♂♀	バイセクシュアル
♀	♀	♂	異性愛 ●
		♀	同性愛（レズビアン）
		♂♀	バイセクシュアル
	♂	♀	異性愛
		♂	同性愛（ゲイ）
		♂♀	バイセクシュアル

●は「典型的な性のあり方」を持つ人。大多数を占めますが、多様な性のありかたの一つです。

ほかにも、上記に当てはまらない、

- ・「アセクシュアル（性的な関心や欲求がない人）」
 - ・「Xジェンダー（自認する性別が男女いずれにも当てはまらない人）」
- など、多様な性のあり方を持つ人がいます。

また上記に加え、「4 社会的な性…国や社会・宗教などの影響により、後天的に身についた性」という要素があります。

「性自認」・「性的指向」と「SOGI (ソジ・ソギ)」

「性自認」とは、自分がどの性別であると認識しているかを示すものです。性自認が身体的な性別と異なる「性別違和」は精神疾患ではなく、治療によって変更できるものではありません。

「性的指向」とは、恋愛感情や性的な関心がどの性別に向いているかを示すものです。性的指向も自ら変えることはできず、精神疾患ではありません。また、「嗜好」とは全く異なる概念です。この性的指向・性自認を表す言葉として、「SOGI (ソジ・ソギ)」という言葉が、典型的な性のあり方を持つ人を含む、すべての人に関わる概念として用いられるようになりました。

※ SOGI … 「Sexual Orientation(性的指向) and Gender Identity (性自認)」の略称

LGBTをもっと知るために！ 編集委員おススメの本と映画を紹介します

書籍

「オレは絶対にワタシじゃない」
トランスジェンダー逆襲の記

遠藤まめた 著 はるか書房 2018

トランス男子まめたさんが若者支援活動家として活躍する動機や原動力を笑いも交えて書かれています。LGBTだけではなく、世の中ちよっとおかしいぞと声を挙げたい人にもおすすめ！

「先生と親のためのLGBTガイド」

(遠藤まめた 著 合同出版) と2冊でビギナー入門セット。



絵本

「タンタンタンゴは
パパふたり」

文 ジャスティン・リチャードソン/
ピーター・バーネル
絵 ヘンリー・コール ポット出版 2008

男の子のペンギンカップル、ロイとシロは一緒に巣作り。交代で卵の様な石を拾い交代で温め始めましたが…。NYセントラルパーク動物園で本当にあったお話です。



映画

「ボヘミアンラブソディ」

伝説のバンド〈クイーン〉のリードボーカル、フレディ・マーキュリー。彼はゲイであり、AIDSでこの世を去った。天才的な彼の栄光と孤独の物語。クイーンの音楽は愛が溢れ私達はその曲に勇気づけられる。“居場所のない者、弱者、名もなき者”に捧げる映画だ。

*ゴールデングローブ賞に輝きました。



地域で頑張っています

男女共同参画 地区推進員

地区推進員とは

「男女共同参画」の考え方を地域から普及させるため、藤枝市では、平成24年度より市内全11地区で男女共同参画の推進を図る活動を実施しています。

各地区ごとに「地区推進員」を任命、地区推進員は、それぞれの地区ごとに独自の啓発活動を計画し、「ふれあいまつり」などの場で男女共同参画の普及・啓発に取り組んでいます。

こんな活動
をしています

地区推進員の活動を紹介します

大洲地区推進員活動

11月11日(日)「ふれあいまつり」で啓発活動

取組 1 大洲中学校の2年生から募集した「男女共同参画川柳」の優秀作品を掲示。
来訪者に良いと思う作品を投票してもらい、最優秀賞を決めました。



「変えていく 私らしさが 大切だ」
2年4組 宮城島 未結さん

投票した方に聞きました.....

- 中学生はよく見ているなあ
- 若い子の考え方は柔軟
- こういうふう川柳を作るのは良いことだと思いました

取組 2 地区推進員アドバイザー 奥山和弘氏の講演で使われた、まんがで男女共同参画を考えるパネルを掲示、夫婦のセリフを考えてもらいました。



中学生の作った川柳に投票

推進員から.....

これまでの活動を振り返る中で、「若い人たちへの啓発が必要」という意見が出ました。
大洲中学校に川柳作成を依頼したところ、前の年に「マイジョブ講座」を受けた2年生が作ってくれました。これまでも、地域の行事に標語を作る活動をしており、快く取り組んでくれました。

岡部地区推進員活動

11月18日(日)「岡部宿にぎわいまつり」で啓発

取組 1 昨年作成した推進員活動のシンボルマークを皆さんに親しんでもらえるよう、来場者から名前を募集しました。
また、シンボルマークの焼印が入った木製コースターを作成し、周知を図りました。



ロゴマーク入りコースター

取組 2 以前から、「男女共同での防災」への取組を続けてきましたが、前年のアンケート結果より、防災機器の取扱が女性にとって負担が大きいことがわかったことから、今年度は誰もが使える防災機器の説明書「簡単取説」を自主防災会と共同で製作しました。



防災機器の簡単取説

来場者の声.....

- じゃんけんゲームやカラフルな台所洗剤を混ぜるなど、アイデアが面白い。
- 男女共同参画のシンボルマークが印象に残った。



10年前の私、今の私

～人工知能の台頭を見据えて～

この原稿は満員電車の中で書いている。スマホの音声入力によって、立ったままでも原稿が書けるようになった。音声入力のような人工知能が発達すると、仕事のスピードは格段に速くなる。将来的には、1日4時間だけ稼働して、残りの時間をお金は生み出さなくても、人生の大切な時間に充てることができるといわれる。けれども、これを実現するには、2つの壁がある。20世紀型の働き方の見直しと、男女共同参画 (Gender Equality) である。両者に共通するのは、近代日本が生み出してきた日本籍かつ健常者である男性中心社会からの転換である。

私が静岡に移住したのは3年前である。東京生まれ東京育ち。でも、東京の空気に馴染めず、小学生までは、3連休があると山梨の親戚の家に転がり込んでいた。私の原体験は、一家総出で農家を営む親せきの横で遊んでいたことにある。そこでは、常に高校野球を中継するラジオが流れていた。

野球は、私の人生において、いつも大切なものを教えてくれる恩師である。20世紀型の働き方の見直しを教えてくれたのも、野球だった。10年前、私は、部活動に明け暮れ、毎晩終電に乗って、自宅に帰っていた。そんな時に出会ったのがワークライフバランス (以下、WLB) という考え方だった。私は、WLBを研究テーマに据えた。だが、部活しかしてこなかった私は、文献を読んでも何の想像力もはたらかなかった。

静岡大学男女共同参画推進室
跡部 千慧

静岡大学学術院融合・グローバル領域助教 (男女共同参画推進室担当)。
専門は労働と家族の社会学、ジェンダー研究。



そこで、とにかく、子育て支援やWLBコンサルティングの現場に多く足を運んだ。

その中で、自然と私をもつ“20世紀型の価値観”を見直す機会に巡り合った。仕事で結果を出すには、「関係の質」を上げなければいけない。1つ苦言を呈すには、その前に9つの感謝の言葉が必要である…ということに気づかされたのである。20世紀型の人間関係の築き方が変わらなければ、人工知能の台頭は、かえって仕事を増大させかねない。

人工知能の台頭に向けて、もう1つ忘れてはいけないのが、社会保障制度である。人工知能が発達すれば、賃労働の多くは効率化されるが、育児・介護といった人間の生命の維持に必要な再生産労働は残り続ける。賃労働で稼いだお金が、社会保障を通じて、再生産労働を担う者に再分配されなければ、失業者で溢れかえる社会になる。この議論には、育児・介護の経験を持つ政治家の参画が必要である。育児や介護の経験に性別は関係ないが、性別分業が根深く残る社会においては、政治分野における男女共同参画が、人工知能の台頭を間近に控えた今だからこそ、大きな課題である。

今、わたしたちは過渡期を迎えている。WLBという考え方によって、この10年間で私の人生が変わったように、10年後も皆が幸せに暮らしているのだと願いたい。

編集後記

“ふっつってなに”を追いかけて始まった編集会議でした。

昨年は家庭や家事を、今年度は多文化共生、性の多様性をみつめました。いずれも奥の深さにおどろくばかり。編集会議の盛り上がり紙面に反映する難しさを痛感し、他の情報誌を見る目も変わりました。

内野みつ子

男女共同参画という言葉を知って、早十年余。ここ数年、推進員、編集員として関ってきた。行き着く所、多様化社会の中互いに認め合い、協力して生きて行くという事なのか。まだ、道のりは長い。委員の皆さんありがとう。

嶋尻俊江

人によって「普通」は違う、と常々考えていたので、特集の取材を通して、様々な「普通」に出会うことができ、大きな収穫でした。

また、個性豊かな方々との毎回の編集会議も、楽しい学びの時間となり、これも大きな収穫でした。

酒井暁美

私の見た目は編集前とは変わらない。変わったのは心だ。第三者が見ても、その変化は気づかないだろう。自分しか解らない“何か”を抱えて生きている人は、人間の数だけいるということを理解しても良いのではないだろうか。

本田秋江

男女共同参画社会づくり情報誌

Run らんらん
No.21 2019.2.20

Run らんらんのご感想をお聞かせください

藤枝市男女共同参画課 〒426-8722 藤枝市岡田山1丁目11番1号
【TEL】054-643-3198 【FAX】054-643-3327
【E-mail】danjo@city.fujieda.shizuoka.jp

情報誌「Runらんらん」は、市民から公募した編集委員が企画・編集しています。

編集委員 内野みつ子/酒井 暁美
嶋尻 俊江/本田 秋江

女性のための相談室

自分のこと、夫婦・家族のこと、仕事のこと…
ひとりで悩まないで相談してみませんか?女性
カウンセラーが、あなたと一緒に考えます。

相談日 毎週木曜日、第2・第4土曜日
13:30~16:30
(相談時間は1人45分)

場所 藤枝市役所西館2階
「女性のための相談室」



相談予約電話番号 (藤枝市男女共同参画課)

054-643-3198

「藤枝市男女共同参画推進事業所」を募集しています。

「推進事業所制度」とは

男女共同参画の推進に理解と意欲があり、男女がともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる先進的な事業所を、市長が認定するものです。市内の事業所における男女共同参画の普及・推進を目指して平成23年度に創設した制度で、これまでに30事業所を認定しています。

認定されるとこんなメリットが

市のホームページや広報ふじえだ、情報誌などで広く紹介し、事業所の積極的な取組みをPRします。また、講演会や意見交換会などに参加し、専門家からアドバイスを受けることができ、さらには事業所のイメージアップ、優秀な人材の確保にもつながります。また、藤枝市総合評価落札方式 (特別簡易型) の評価点の加算や、「設備投資資金利子補給」の上乗せなどのメリットもあります。

詳しくは藤枝市ホームページをご覧ください

<http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/kurashi/danjokiyodo/1447731256349.html>

